

東京スター銀行
法人のお客さま向けインターネットバンキング「スターBB！」の
セキュリティ強化のため、「トランザクション認証機能」を追加
～ マルウェアによる送金情報の改ざんを検知し、不正送金を未然に防止 ～

株式会社東京スター銀行(東京都港区、代表執行役頭取 CEO 入江優、以下「当行」)は、2016年6月20日(月)より、法人のお客さま向けインターネットバンキング「スターBB！」に、セキュリティ強化のため、二次元コードによる「トランザクション認証機能」を新たに追加し、提供を開始いたします。

「トランザクション認証」とは、従来の「入力者が本当に契約者本人であるか」に加え、「銀行に送信された依頼データが、入力者が意図した内容から書き換えられていないか」まで確認する新世代の認証方式です。

近年、国内の金融機関においても被害が確認されている MITB(マン・イン・ザ・ブラウザ)攻撃で使われるトロイの木馬などのマルウェアは、インターネットバンキングなどでログインされた後の通信を乗っ取ってしまうため、通信の暗号化や、ワンタイムパスワードなどのユーザー認証を導入していても防げないケースがあります。今回の「トランザクション認証機能」の追加により、万が一、利用者のログイン ID やパスワードが悪意を持った第三者に不正に知られてしまった場合でも不正送金を防止できるようになり、取引の安全性が格段に向上いたします。

【「スターBB！」の「トランザクション認証機能」とは】

送金取引時に、実際に銀行へ送信される送金先の口座番号や送金金額等の送金情報(トランザクション)をもとに生成された二次元コードを、二次元コード読み取り機能付きハードウェアトークン(カメラ付きトークン)で読み取り、トークンの画面上で送金情報がパソコン内で改ざんされていないかを利用者が確認したうえで、取引続行の可否を選択できるようにする機能です。これにより、マルウェアによる送金情報の改ざんを検知し、不正送金を未然に防止することが可能になります。このほか、取引を行うオンライン端末(パソコン)と、送金情報を表示・確認するオフライン端末(カメラ付きトークン)とを分けることで、マルウェア以外の手段による改ざんを検知し、不正送金を未然に防止することも可能になります。



二次元コードをカメラ付きトークンで読み取ると、送金の依頼内容とトランザクション認証番号(可変パスワード)がトークン上に表示されます。①

内容に問題が無いことを確認し、可変パスワード①をパソコン上で入力し認証します。②

6月中旬以降、「スターBB!」をご利用のすべてのお客さまにカメラ付きトークンを無償で配布いたします。また、7月4日(月)からは、事前にご登録いただいた入金先への振込・振替、国・地方公共団体向けの払い込み(ペイジー)以外のすべての資金移動の承認や利用者の追加等に「トランザクション認証機能」のご利用が必須となります。

当行は、今後も、お客さまに安心・安全に「スターBB!」をご利用いただけるよう、不正利用防止対策を強化してまいります。

※ 「スターBB!」および「トランザクション認証機能」は、株式会社NTTデータのAnserBizSQLサービスを利用しています。

以上

【株式会社東京スター銀行 会社概要】

社名 株式会社東京スター銀行 (<http://www.tokyostarbank.co.jp>)

本社 東京都港区赤坂二丁目3番5号

創業 2001年6月11日

資本金 260億円

代表者 代表執行役頭取 CEO 入江優

【株式会社NTTデータ 会社概要】

社名 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ(略称 NTTデータ)

(<http://www.nttdata.com/jp/ja/index.html>)

本社 東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル

資本金 1,425億2千万円(2016年3月31日現在)

代表者 代表取締役社長 岩本 敏男